

イチゴ品種「ふくあや香」の育苗期における 子苗発生、発根性、花芽分化等の特性

福島県農業試験場野菜部

平成15年度福島県農業試験場試験成績概要書

1 部門名

野菜－イチゴ－育苗、生理・生態
分類コード 03－07－06040000

2 担当者

大越 聡・雨宮潤子

3 要旨

福島県オリジナル品種であるイチゴ「ふくあや香」の育苗期における子苗発生数、発根性及び花芽分化時期を調査し、親株必要数、仮植の難易及び定植適期を明らかにした。

- (1) 親株を4月上旬に定植し、芽数を1芽に管理した場合、7月中旬における「ふくあや香」の子苗(1～4葉の苗)発生数は親株あたり29.6株で、「女峰」の77%、「とちおとめ」の131%であった。また、7月下旬における「ふくあや香」の子苗(1～4葉の苗)発生数は親株あたり37.3株で、「麗紅」の67%、「さちのか」の83%であった。これら結果から、10a分(8,000株)の苗を得るために必要な親株数は、7月中旬仮植の場合は271株、7月下旬仮植の場合は215株と推定された。
- (2) 「ふくあや香」の発根性は「女峰」及び「麗紅」並で、「とちおとめ」に優り、「さちのか」より劣ると判断された。この結果から、「ふくあや香」の仮植後の活着には特に問題ないと判断された。
- (3) 「ふくあや香」の花芽分化期は9月20日頃で「麗紅」並であり、「女峰」及び「とちおとめ」(9月10日)より遅く、「さちのか」(9月17日)にやや遅れると判断された。この結果から、「ふくあや香」の定植適期は9月下旬と判断された。

4 その他の資料等

なし